



関西 3 地域グループ合同例会のご案内

「オープンアクセスの最新動向と大学図書館の役割」

日時：2026年2月14日(土)14:30-16:30

会場：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1408教室（現地開催のみ）

アクセス：https://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

講師：花田謙一氏 (EBSCO Information Services, Japan)

定員：40名（定員に達し次第締切）

参加費： 大図研会員・非会員を問わず無料

申込締切： 2026年1月30日（金）24:00

申し込み方法：Google フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfP_KEe0v76-3Yh_D-tiU1kuGiPpXR455bvY8M1WIvMYmCL5Q/viewform

内閣府が定めた、学術論文等の即時オープンアクセス義務化への実際の対応開始が近づきつつあります。即時オープンアクセス化をより望ましい形で行うためには、コストや持続可能性、研究者の選択の自由、研究評価など、様々な視点からの課題があります。また、オープンアクセス化された研究成果のインパクト向上のためには、研究成果がより発見・流通されやすい仕組みやインフラの整備も必要です。

今回の合同例会では、オープンアクセスの進展について幅広い視点で継続的に発信し続けている花田謙一氏 (EBSCO Information Services, Japan) を講師に迎え、上記のような視点からオープンアクセスの最新動向を大学図書館員向けに紹介していただきます。即時オープンアクセス義務化への対応とあわせて、大学図書館の役割を考える機会になりましたら幸いです。今回のテーマにご興味のある方は、ぜひご参加をご検討ください。

[目 次]

| | |
|------------------------------------|------|
| 関西 3 地域グループ合同例会のご案内 | … 1 |
| 大学図書館研究会京都地域グループ第 48 回京都地域グループ総会議案 | … 2 |
| 第 1 号議案 | … 2 |
| 第 2 号議案 | … 4 |
| 第 3 号議案 | … 6 |
| 第 4 号議案 | … 6 |
| 議事メモ・補足事項 | … 8 |
| グループ運営委員あいさつ | … 9 |
| 会費ご納入のお願い | … 12 |

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com (大学図書館研究会京都地域グループ)

URL：<https://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大学図書館研究会京都地域グループ 第 48 回京都地域グループ総会議案

【第 1 号議案】

2024/2025 年度(2024.7~2025.6)活動総括及び 2025/2026 年度(2025.7~2026.6)活動方針

1.2024/2025 年度総括

(1) 研究交流活動

前年度（2023/2024 年度）は 3 企画の実施であったが、今年度（2024/2025 年度）は以下の通り 5 企画の実施をした。

- ・ 2024 年 07 月 28 日 (日) 大図研京都ワンディセミナー「読書バリアフリーに関する国立国会図書館の近年の取組と大学図書館との関係」参加 16 名
- ・ 2024 年 09 月 28 日 (土) 大図研京都ワンディセミナー『貸本屋と新聞縦覧所と図書館と—近世近代読書装置への史眼（廣庭基介セレクション）』のお話 参加 11 名
- ・ 2024 年 10 月 26 日 (土) 大図研京都ワンディセミナー「京都橘大学図書館見学と交流会」 参加 11 名
- ・ 2025 年 01 月 26 日 (日) 大図研京都ワンディセミナー「円安対策！「2 つの欧文文献提供システムを同時導入」導入の経過と成果について」 参加 30 名
- ・ 2025 年 02 月 24 日 (月) 大図研京都ワンディセミナー「立命館大学学生による卒業論文発表会」 参加 16 名

特に 2 月の学生の卒業論文の発表は、今後の組織強化にもつながる取組であったと高く評価しているので、今後も担当教員との連携を維持・強化して定例化に努めたいと思っています。なお、交流企画が実施できなかったので、次年度にぜひ実施できるようにしたいと思っています。

(2) グループ報

2024/2025 年度刊行分につきましては、グループ報刊行に係る負担軽減のため、刊行頻度を年間 2 号に変更いたしました。また即時 OA 義務化対応としてエンバーゴの廃止を行いました。その上で、計画的発行を目指し編集作業を行いました。

2024/2025 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.361

- ・大学図書館研究会京都地域グループ報 刊行頻度変更と即時 OA 対応について
- ・大学図書館研究会京都地域グループ第 47 回京都地域グループ総会議案
 - ・第 1 号議案
 - ・第 2 号議案
 - ・第 3 号議案
 - ・議事メモ・補足事項
 - ・グループ運営委員あいさつ
 - ・会費ご納入のお願い

2) グループ報 No.362

- ・京都地域グループ委員の募集について

- ・大図研京都ワンディセミナー参加報告
 - ・『『貸本屋と新聞縦覧所と図書館と-近世近代読書装置への史眼（廣庭基介セレクション）』の お話』参加報告 （永田千晃）
 - ・「京都橘大学図書館見学と交流会」参加報告：～危機感を原動力とした発展～（加川みどり）
 - ・「円安対策！「2つの欧文文献提供システムを同時導入」導入の経過と成果について」参加報告（山田奈々）
 - ・「立命館大学学生による卒業論文発表会」参加報告：貴重な「学び」と「つながり」を得た卒論発表会（久野和子）
- ・会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メールマガジン

Web サイトに、イベント案内、グループ報、グループ運営委員会報告、地域グループ総会報告等、グループ活動の記録を掲載しました。グループ報についてはエンバーゴの廃止に伴いパスワードの設定を廃止しました。

また、メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.325（2024年7月3日）から no.336（2025年6月30日）を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。

(4) 組織活動

2024/2025 年度は、地域グループ会員 51 名の皆さんに支えられながら活動してきました。今年度は 1 名の退会があった一方で、6 名の新規入会がありました。多くの方に入会していただけたのは、継続して研究交流企画を行ってきた成果だと感じています。

(5) 財務

活発な研究交流を目指して、今年度も研究交流会費に重点的に予算を配分しました。5 回の研究交流企画を実施し、そのうち複数回は会員の所属機関などのご協力により会場費が無料となりました。また、講師も会員であったり、無償で行っていただけたことから全体として費用を抑えることができました。

その結果、予算の範囲内で効率よく、かつ質の高い企画を継続することができました。あわせて、これまで試行的に運用していた「学生会員制度」についても、運用状況をふまえて内容の見直しを行い、今後の規約改定を検討しました。

2. 2025/2026 年度活動方針

(1) 研究交流活動

1) 計画中の企画

- ・9月に実施予定の全国大会において、京都地域グループとしてシンポジウムの企画その他に取り組んでいます。
- ・また、昨年度実施した、卒業論文シリーズを何とか今年度も実施できないか模索中です。

2) 会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

- ・会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。

勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 2 回程度は開催できるようにします。

(2) グループ報

購読会員を廃止し、即時 OA 対応を引き続き進めます。また、計画的に年 2 回発行を行い、総会記録および委員・新入会員あいさつ、セミナー等イベントの内容を会員の皆様にお伝えできる紙面の作成を目指します。

(3) Web サイト、メールマガジン

京都地域グループが主催・共催する各種活動の情報やグループ報の記事を、Web サイトを通じて随時発信しています。その他のコンテンツの充実についても努めてまいります。

また、メールマガジンについて、会員に役立つ内容をお伝えするとともに配信のタイミングについて継続して検討していきます。

(4) 組織活動

2025/2026 年度は、会員 50 名でのスタートとなります。今年度は、京都地域グループが全国大会の運営に大きく関わる予定です。この機会を活かして、新たな会員の獲得や地域グループの活動の認知向上につなげていきたいと考えています。

(5) 財務

今年度も、活発な研究交流を目的に、研究交流会費に重点を置いた予算編成を行っています。過去の繰越金も活用しながら、柔軟かつ計画的に執行していく予定です。

【第 2 号議案】

2024/2025 年度決算案 (2024.7~2025.6)

(単位：円)

| 総収入 | 総支出 | 差引残高 |
|---------|--------|---------|
| 667,584 | 70,233 | 597,351 |

| ■収入 | | | |
|--------------|---------|---------|--------|
| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 |
| 前年度繰越金 | 634,700 | 634,700 | 0 |
| 会費・地域グループ助成金 | 27,000 | 29,000 | 2,000 |
| セミナー参加費 | 10,000 | 3,500 | -6,500 |
| 大図研出版物支部卸頒布 | 5,000 | 0 | -5,000 |
| 利子 | 1 | 384 | 383 |
| 合計 | 676,701 | 667,584 | -9,117 |

| ■支出 | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 |
| 会報 | 60,000 | 0 | 60,000 |
| 研究交流会費 | 250,000 | 70,233 | 179,767 |
| 事務費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 特別事業費 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| 予備費 | 336,701 | 0 | 336,701 |
| 合計 | 676,701 | 70,233 | 606,468 |

※会報編集費と国立国会図書館への納本に係る経費として会報予算 60,000 円を立てて
いましたが、今年度は執行はありませんでした。

※また、事務費、特別事業費についても執行はありませんでした。

※研究交流会費の内訳は講師謝礼、講師交通費、資料印刷費、茶話会に係る茶菓物品で
す。また講師謝礼等の振込に係る振込手数料も含んでいます。

： 2024/2025 年度大学図書館研究会京都地域グループ会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2025 年 7 月 24 日

山岸 瑶果

(印)

2025/2026 年度予算案 (2025.7~2026.6)

(単位 : 円)

| □収入 | |
|-------------|---------|
| 項目 | |
| 前年度繰越金 | 597,351 |
| 地域グループ助成金 | 27,000 |
| セミナー参加費 | 5,000 |
| 大図研出版物支部卸頒布 | - |
| 利子 | 300 |
| 合計 | 629,651 |

| □支出 | |
|--------|---------|
| 項目 | |
| 会報 | 60,000 |
| 研究交流会費 | 250,000 |
| 事務費 | 10,000 |
| 特別事業費 | 20,000 |
| 予備費 | 289,651 |
| 合計 | 629,651 |

※会報は電子的な公開を継続し、印刷・発送を最小限度にするとともに次年度も編集作業に支出します。

※活発な研究交流会を行うため今年度より研究交流会費として計上します。

※規約改正による学生への新規入会特典を特別事業費として計上します。

【第3号議案】

2025/2026 年度大学図書館研究会京都地域グループ運営委員

グループ委員(50 音順)

安東 正玄 (立命館大学教職員組合)

内田 莉 (滋賀医科大学附属図書館)

坂本 拓 (国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室)

長坂 和茂 (京都大学法学部図書室)

野間口 真裕 (京都大学附属図書館)

原 健治 (同志社大学経済学部・経済学研究科事務室)

山上 朋宏 (奈良女子大学学術情報センター)

若狭 あや (京都大学桂図書館)

監査委員

山岸 瑠果 (京都大学附属図書館)

全国委員

長坂 和茂 (京都大学法学部図書室)

特別グループ委員

赤澤 久弥 (大阪大学附属図書館)

渡邊 伸彦 (奈良女子大学学術情報センター)

【第4号議案】

大学図書館研究会 京都地域グループ規約の改訂について

| 大学図書館研究会 京都地域グループ規約新旧対照表 | |
|--|---|
| 新 | 旧 |
| (会員) 第4条 <u>本グループは、大学図書館研究会の会員であり、本会の目的に賛同する者で構成します。京都地区外または大学図書館員以外の者であっても、目的に賛同する場合には会員となることができます。</u> | (会員) 第4条 <u>本グループは京都府の大学図書館員および本グループが認めた会員で組織します。</u> |
| 2 会員は、 <u>本グループ</u> のすべての事業に <u>会員価格</u> で参加することができます。 | 2 <u>グループ</u> 会員は <u>本グループ</u> のすべての事業に <u>参加し</u> 、 <u>グループ報</u> の配布を受けることができます。 |

| | |
|--|--|
| <p>3 本グループは、地域グループの活動に 関心を持つ学生の参加を歓迎する立 場から、高等学校、大学、大学院その 他これに準ずる教育機関に在籍する 学生で、新たに入会する者に対し、入 会年度に限り、大学図書館研究会会費 5,000 円分を図書カードにて進呈しま す。なお、社会人学生は対象外としま す。</p> | <p>3 京都地域グループに所属しない会員 は、購読会員となることができます。 購読会員は、グループ会費を納めるこ とによって、グループ報の配布を受け ることができます。</p> |
| <p>(略)</p> | <p>(略)</p> |
| <p>(財政) 第 10 条 本グループの経費は地域グループ<u>活動</u>費、 助成金、事業収入および寄付金でまかないと <u>します</u>。</p> | <p>(財政) 第 10 条 本グループの経費は地域グループ<u>会</u>費、 助成金、事業収入および寄付金でまかないと <u>、購読会員は地域グループ費を前納しなければなりません</u>。</p> |
| <p>2 地域グループ<u>活動</u>費は年額 0 円としま す。</p> | <p>2 地域グループ費は年額 0 円とします。</p> |
| <p>3 本グループの予算、決算に関するこ とは総会に提案し、その議決を得なけれ ばなりません。</p> | <p>3 本グループの予算、決算に関するこ とは総会に提案し、その議決を得なけれ ばなりません。</p> |
| <p>4 委員会はグループ会員の要求のある ときは、その都度会計簿を見せなければ なりません。</p> | <p>4 委員会はグループ会員の要求のある ときは、その都度会計簿を見せなければ なりません。</p> |
| <p>5 本グループの会計年度は 7 月 1 日より はじまり、翌年 6 月 30 日に終ります。</p> | <p>5 本グループの会計年度は 7 月 1 日より はじまり、翌年 6 月 30 日に終ります。</p> |
| <p>附 則 第 1 条</p> | <p>附 則 第 1 条</p> |

| | |
|---|---|
| <p>本グループの所在地及び事務局の所在地は財務担当の住所を準用します。</p> <p>第 2 条</p> <p>このグループ規約は <u>2025 年 07 月 01 日</u> より効力を発するものとします。</p> | <p>本グループの所在地及び事務局の所在地は財務担当の住所を準用します。</p> <p>第 2 条</p> <p>このグループ規約は <u>2024 年 07 月 01 日</u> より効力を発するものとします。</p> |
|---|---|

<大学図書館研究会第 46 回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

第 1 号議案

各担当から 2024/2025 年度活動報告が行われた。
各担当から 2025/2026 年度活動方針が説明された。

Q. 研究交流活動について、今年 2 回ほど茶話会を開催したが、来年度も継続するか？

- A. 時間に余裕があれば、交流の場を用意することはよいと考える。
やり方は今後も検討したい。（茶菓子は持ち寄るなど）

第 1 号議案は全会一致により承認された。

第 2 号議案

内田委員から 2024/2025 年度決算について説明された。

監査委員意見として、備考欄の書き方がわかりにくいという意見があり、修正した。

Q. 利子が大きく増えている理由は何か

- A. 当座口座を廃止し、普通口座に移したため。

内田委員から 2025/2026 年度予算案について説明された。

Q. 支部卸の支出が 0 円だが、支部卸は今後販売の見込みはないか？

- A. 近年、売れておらず、販売は見込めない可能性が高く、予算としては計上しなかった。「0 円」と表記を修正する。

大会で販売することも検討する。

Q. 大会が黒字になった場合には収入となるのか。

- A. 余剰の 1 / 3 が地域グループの収入となる見込み

第 2 号議案は全会一致で承認された。

第 3 号議案

山上委員から第 3 号議案について説明された。

「特別グループ委員」の扱いについて、来年度に向けて検討を行うこととした。

第3号議案は全会一致で承認された。

第4号議案

内田委員から第4号議案について説明された。

グループ報のOA化への対応と、学生会員の対応を決めるための改訂である。

第4号議案は全会一致で承認された。

グループ運営委員 挨拶

2025/2026年度グループ委員を務めます8名よりご挨拶させていただきます。今年度もより一層京都地域グループ盛り上げ、会員の皆さまのお役に立つような情報提供を行っていきたいと思います。これからも大学図書館研究会京都地域グループをどうぞよろしくお願ひいたします。

●グループ代表/メールマガジン/Webサイト/「大学の図書館」編集（山上 朋宏）

昨年度に引き続き、地域グループ代表を務めさせていただきます。

9月に奈良で開催された全国大会に向け、昨年度から地域グループ委員一同、他地域の実行委員と協力し、準備を進めてまいりましたが、おかげさまで無事に終えることができました。多くの方にご参加いただいただけでなく、全国大会をきっかけに新たにご入会いただいた方もおり、心より感謝申し上げます。

今年度も、会員相互の交流を深め、研修や経験交流の場を提供するという本グループの目的を果たすべく、ワンディセミナーの開催を予定しております。皆様にとって有意義な企画となるよう努めてまいります。

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

やまがみ ともひろ（奈良女子大学学術情報センター）

●副グループ代表/組織財務/「大学の図書館」編集（内田 萁）

今年度、副グループ代表を務めさせていただくことになりました。

イベントには、少しでも積極的に参加する方が、楽しいことも、得られることも大きいと思っています。

運営に関わる方法もありますが、まずはイベントに参加してみるとから。講師に質問してみる、発言してみる、その場で「はじめまして」と挨拶する——そんな小さな一步でも十分です。あまり参加できない方も、まずは一度顔を出してみるだけでも！

正直、面倒に感じたり、しんどいと思うこともあるでしょう。でも、きっと良いことがある信じています。

この1年、山上グループ長のもとで、会員の皆さんに「入会してよかったです」と思っていただけけるような企画・運営に努めてまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

うちだ しおり（滋賀医科大学附属図書館）

●研究企画（安東 正玄）

昨年度に引き続き研究企画担当をさせていただくことになりました。大図研の魅力は、図書館に関わる各種最先端に敏感な人が多くいる事と、自分が所属している大学以外の多くの仲間と語り合えることです。自身の大学組織の中では、できることは限られています。いろんな可能性を求めて、大図研で一緒に学びあいませんか。特に、こんな企画・あんな企画したい・興味があるという方がいましたら、大図研京都の扉をたたいてください。いつでもその企画が実現できるよう大図研京都のメンバーが応援します。

あんどう せいげん（立命館大学教職員組合）

● グループ報編集/「大学の図書館」編集（坂本 拓）

私事ですが、今年で京大の図書館に就職して20年目となります。就職と同時に大図研京都地域グループに入ったので、こちらも20年目となります。

この間、図書館職員の大幅な人員削減、外部委託の進行、少子化の加速、コロナの蔓延、生成AIの登場等、いくつもの大きな変化がありました。京都地域グループも20年前といろいろな点がかなり変わりましたが、近年はグループの会員数が減少から微増に転向しており、皆様が京都地域グループに期待くださっている何かがあるのだと思います。ですがその何かは、きっとグループ運営委員だけの力では実現できないものだと思うので、グループ会員の皆様と一緒に、今の時代に即した、より良い京都地域グループを作っていくべきだと思います。

さかもと たく（国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室）

● グループ報編集/Webサイト/メールマガジン（野間口 真裕）

昨年度はグループ報の編集について、抜本的な見直し、即時オープンアクセス化を行いました。全国大会は盛会に終了し、実行委員の務めも終わりがみえ、ほっとしております。

今年度は国立国会図書館へのオンライン資料納入やメールマガジンでの周知につきまして検討できればと考えています。

引き続き適切な記録・周知・広報が行えるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

のまぐち まさひろ（京都大学法学部図書室）

●研究企画/組織・財務（長坂 和茂）

今年度は、研究企画担当および組織・財務となりました、長坂です。気がつけば様々なイベントの遠隔開催もすっかり定着し、離れた場所で行われるイベントにも気軽に参加できるような時代が到来しました。

こうした状況下、京都地域グループとしては遠隔から参加すること、現地で参加すること、それぞれの良さがあるイベントを今後も開催していきたいと考えています。会員の皆さんにおかれましては是非ご参加いただき、大図研を「活用」していただければと思います。

ながさか かずしげ（京都大学附属図書館）

● SNS/（原 健治）

自身は図書館を離れて10年近くになりますが、電子リソースや雑誌の契約など図書的な業務を担当しており、大図研のような組織で情報共有がなされているのは非常に有益と考えています。

国公私立を問わず限られた財政状況のなか、いかに学生・研究者に学術情報を効率的に提供できるかは、大学においては永遠の課題かと。

今年も立場の違いを超えた交流の深化に寄与したいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

はら けんじ（同志社大学経済学部・経済学研究科事務室）

● 研究企画（若狭 あや）

昨年度に引き続き、研究企画を担当させていただきます。今年は雑誌担当に加え、図書・リポジトリ業務にも少し関わることになりました。新しい業務に取り組むということもあり、常日頃から色々なところにアンテナを張り巡らせるようにして、よりよい企画実施に繋げていければと思っておりますので、今年度も引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

わかさ あや（京都大学桂図書館）

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017 年度(2016 年 7 月～2017 年 6 月)より、大学図書館研究会会費は、すべての会員の皆さんに、直接大学図書館研究会事務局へご納入いただいております。また、2023/2024 年度臨時地域グループ総会にて 2024/2025 年度より京都地域グループ費が 0 円になることとなりました。

2024/2025 年度より会費は、

¥5,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥0)/年度です。

※2023/2024 年度までの会費は¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/となります。未納の場合につきましては速やかに納入いただきますよう何卒よろしくお願ひいたします。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 ○一九(ゼロイチキュウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。